

HEALTHCARE

## ノースサイドホスピタル ウィメンズセンター (米国、ジョージア州フォーサイス)



静かなスペースを  
実現した、  
女性向け  
ヘルスケアセンター

→ マタニティおよび新生児ケアを行う国内の大手病院のひとつ、ノースサイドホスピタルは、陣痛および出産、新生児ケア、ハイリスクの周産期診断、育児/新生児クラス、授乳相談などに関する包括的なサービスを提供しています。米国ジョージア州のフォーサイスキャンパスに、約1万平方メートルもの規模で新たに建設されたウィメンズセンターは、成長し続けるノースアトランタ近郊の需要に応えるべく1か月前倒しでグランドオープンを迎えました。この過酷な納期に応じるため、プロジェクトチームが協力しあい、独自の素材仕様に基づいて、かつてないインテリアを実現したのです。

## ケーススタディー:

### ノースサイドホスピタルウィメンズセンター (米国、ジョージア州フォーサイス)



ノースサイドホスピタルのフォーサイスキャンパスに新しく建てられたウィメンズセンターは、高級ホテルと見間違えてしまいそうな建物です。エントランスロビーから続く空間全体とすべてのデザインは、1800年代後半から1900年代初頭のアーツアンドクラフツ運動から着想を得た現代的な美しいトーンでまとめられています。ノースサイドホスピタルは、アトランタ地域にある他のウィメンズセンターとは異なり、若い裕福層をターゲットとすることを考慮していたため、設計段階から従来のアプローチをあまり採用しませんでした。

「主軸となるデザイン方針のひとつは、スパのような環境を構築し、患者のための穏やかな雰囲気を作ることでした」とK2J社の社長、クリスティン・キルヒナー(Kristine Kirchner)氏は語っています。「さらに、病院側は他のどのウィメンズセンターとも異なったデザインにし、患者や来訪者を驚かせたいと考えました」。

「このような独自のデザインを生み出すため、アーツアンドクラフツ運動の理念を基盤としつつ、より現代的でオーガニックな素材と色を選ぶことにしました」とキルヒナー氏は語ります。「インテリア素材をそのまま使用し、すっきりしたラインで、かつ周りの明るさを引き立てるモカウッズのトーンの家具を選択してデザインを簡素にすることで、独特な見た目を出すことができました」。

プロジェクト完成までの過密スケジュールであまり影響を受けなかったもののひとつがカー

ペットの仕様でした。「スタイリッシュな選択肢を持ち、性能にも定評があったので、私たちはアントロン®ルーミナ™ 原着ナイロンをカーペットファイバーに選びました」とキルヒナー氏は語りました。「私たちはすべてのプロジェクトで、まずクライアントにアントロン®カーペットファイバー製のカーペットの使用を推奨することになっています。今回は、エンドユーザーがアトランタ地区の他の施設でアントロン®カーペットファイバー製のカーペットの良さを経験していたことから、私たちの推薦が受け入れられたのです」。

カーペットの選択は、ウィメンズセンターと病院本体をつなぐガレリアのような大きな空間などの各エリアにおけるデザインテーマの統合に不可欠でした。ふんだんな自然光と広々とした空間とともに、カーペットは静かに考え事をしたい人たちに安らぎの場所を提供してくれます。この魅力的な雰囲気を作り出すために、デザインチームは、マニントンコマーシャル社製の気品のあるパターンのカーペット、「アルベジオ」を選択しました。カーペットをエリアラグのように設置することで親しみやすい座席エリアを作り、隣接するテラスフロアの残響を和らげるようにしました。

「ガレリアには最低限の家具しかないため、カーペットを印象的なものにしたと考えました。私たちは、アーツアンドクラフツ時代のデザインモチーフを文字通りに解釈したパターンを選択しました」とキルヒナー氏は語っています。

「より直線的なパターンで視覚的なデザインを生み出すために、カーペットタイルをメーカー推奨の市松張りにはしませんでした。私たちは、カーペットの貼り方を変えることにより、独特な見た目を演出することができました」。

「すべてのプロジェクトで、まず  
クライアントにアントロン®カーペット  
ファイバー製のカーペットの使用を  
推奨することになっています」

— クリスティン・キルヒナー (Kristine Kirchner)  
社長

センター内のパブリックスペースの大部分は、存在感がありながらエレガントなカーペットで覆われています。これは、アントロン®レガシー™ ナイロンを採用したショーコントロール社のシルクコレクションのひとつです。「曲線を描く木製の天井とスレート製の壁といった建築上の特徴に調和し、アートワークの背景を統合するように作用するカーペットを選びました」とキルヒナー氏は語りました。

居心地がよく自宅のような環境を作り出すために、小児特別ケア待合室にもカーペットが敷かれました。そこは、従来の小児病室あるいは周産期集中治療室に入院する新生児がいる家族のためのスペースであり、ストレスを開放する快適な場所を提供しています。アメニティとしては、オンラインで医療関連の調べものができるコンピューターが配置された資料エリア、プライベートのシャワー施設およびパントリーがあります。出産後の家族の待合室にもカーペットが敷かれ、本やおもちゃの揃った子ども用のプレイエリアもあります。

オープンしてわずか2週間のうちに、病院の出産数予測を50%以上上回る良い結果が得られました。当初の予定よりも1か月前倒しでの施設オープンを目指し、それを実現した努力が報われました。



→ アントロン®ルーミナ™ 原着ナイロンは、優れた耐摩耗性を備えると共に、太陽光による色褪せ、度重なる飲みこぼしによるシミ汚れ、業務用クリーニングに対しても耐久性を発揮します。

詳細はお近くのインビスタ社 ファイバーコンサルタントにお問合せください。  
インビスタ ジャパン合同会社 機能サーフェス部 Tel. (03)5511-0090 www.antron.jp

情報は発行時点のものであり、インビスタ社は情報の更新を行う義務は負いません。仕様は予告なく変更される場合があります。インビスタ社の製品は、最終的な利用形態によって性能効率が異なります。仕様については、インビスタ社までお問い合わせください。  
© 2014 INVI STA. All Rights Reserved. アントロン®およびアントロン®商品群のマークとロゴは、インビスタ社の商標です。  
ここに掲載されている商標は各所有企業に帰属し、許可を得て使用しています。

JCS007-10/14